

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【358】
2. 日時：令和5年1月13日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他4名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他5名

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁吉良です。それでは、島野原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを開始いたします。本日、午前中の説明項目は、屋外重要土木構造物の
0:00:14	レジメントフィルタ額の増と、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽となります。
0:00:21	それでは資料の裁判とヒアリングの説明の進め方について、お願いいたします。
0:00:28	はい、中国電力イワコケです。それではまず資料の進め方のほうをご説明させていただきます。
0:00:33	本日二つ資料がありますけれども、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽、こちらについて、先日のヒアリングで解析手法並びに安全対策工事反映前の結果をご説明させていただきました。
0:00:46	本日は、安全対策工事反映後の結果、あと一部数字としておりました内容を拡充しておりますのでこちらを説明させていただきます。
0:00:54	第 1 ベントフィルタ格納槽の方は本日初めてのご説明になりますので、
0:00:58	同じ箱型構造物ですので、低圧原子炉と異なるところを中心に、あと結果も踏まえて説明させていただきます。
0:01:06	で、よろしければこちら二つをですねまとめて、15 分から 20 分程度で全部説明させていただいた後に、ご審議の時間をいただけたらと思います。
0:01:16	はい。
0:01:17	その進め方ではい。お願いします。はい、それではし、続いて資料の裁判の方に移ります。
0:01:26	はい中国電力の河原です。まず資料の確認をさせていただきます。資料は全部で 8 種類あります。ナンバー 1 ですが N-S2 ほか 2702 島根原子力発電所第 2 号機工認記載適正化箇所、第 1 弁タッフ
0:01:40	第 1 ベントフィルタ格納槽、
0:01:42	ナンバー 2N-S に、ほぼ添付 200230。
0:01:47	第 1 ベントフィルタ格納槽の地震応答計算書になってます。
0:01:51	続いてナンバー 3 ですが N-S に添付の 2-00231、こちら第 1 ベントフィルタ格納槽の耐震性についての計算書です。
0:02:01	ナンバー 4N-S に、補 02609、第 1 ベントフィルタ格納槽の補足説明資料になってます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:10	続いてナンバー5ですけども、N-Sに他 271、島根原子力発電所第 2 号機工認、
0:02:17	工認記載適正化箇所、
0:02:21	低圧原子炉代替注水ポンプについてのものであります。
0:02:25	ナンバー6N-S2 添付 200232 の電圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答計算書です。
0:02:34	ナンバー7ですけども、N-Sに添付、2-00233、低圧原子炉、
0:02:41	代替注水ポンプ格納槽の耐震性についての計算書です。
0:02:45	最後ナンバー8ですけどもN-S2 歩 02610 閉会 01。
0:02:50	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の補足説明資料になっております。
0:02:55	こちら資料全部ありますでしょうか。はい。
0:02:57	規制庁期別案の資料の方、そろっております。それでは、説明の方をお願いいたします。
0:03:04	はい中国電力川原です。まず、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽についての説明からさせていただきたいと思います。
0:03:11	資料のご準備の方よろしく申し上げます。
0:03:15	こちら低圧原子炉代替注水広告もそうですけども前回のヒアリングにて、
0:03:20	こちらコメントはいただいておらず適正化のみでしたので、その適正化内容については資料No.5 に記載しております。
0:03:27	大きく変更のあった点ですけど、は先ほど申し上げた通り地震応答計算書と耐震経産省並びは、がですね、安全対策工事着工前から着工後のものに変更になっております。
0:03:39	安全対策工事着工前の詳細につきましては補足説明資料の参考 1 に添付しております。
0:03:46	こちら解析手法等については前回のヒアリングで説明させていただいたので今回は結果のみの説明とさせていただきます。
0:03:54	また結果なんですけどもCC断面についてはちょっと準備中のためまた、本日、随時とさせていただきます。
0:04:02	では資料ナンバー8 ですね、補足説明資料を使って説明の方させていただきます。
0:04:18	はい、ではしょうしですね低圧原子炉代替ポンプ書くの。
0:04:21	代替注水ポンプ格納槽の地震応答計算書及び耐震性についての計算書に関する補足説明資料となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:28	こちら 3 ページ、お願いします当日通し番号でページの方説明させていただきます。
0:04:35	3 ページすいません早速適正化なんですけども、こちら赤枠が今回の提出範囲と書いておりました参考資料 1 が囲われてないんですけど今回すみません、全部、提出という形になっておりますこちら、次回後適正化して訂正いたします。
0:04:50	結果なので、少しページ飛びまして 105 ページお願いします。
0:05:08	こちらから評価結果のほうを記載しております。表 5-1 にA断面とB断面のみですけども、改正ケース 23Aを実施する地震動についての記載があります。次ページ 106 ページをお願いします。
0:05:23	こちらすいません適正化箇所が 1 点あります最初の行ですけども、インデントが少しずれているのと築地というものがありますこちら不要のものなので次回以降削除して提出いたします。
0:05:33	117 ページお願いします。
0:05:42	こちらから 133 ページまでが、結果の範囲となっております。
0:05:47	曲げ軸力系の破壊に対する評価結果マターせん断破壊に対する評価結果、基礎地盤の支持性能に対する評価結果、すべてにおいて全自動において許容限界を下回ることをこちら確認しております。
0:06:00	135 ページお願いします。
0:06:07	参考資料 1 の安全対策工事着工前の周辺地盤状況を踏まえた耐震安全性評価となっております。
0:06:23	18 番は今資料ナンバー 8 ですね。
0:06:30	はい。申し訳ございません。
0:06:35	資料ナンバー 8 の 185 ページお願いします。
0:06:51	申し訳ない。もう一度 135 ページよろしいでしょうか。
0:07:02	こちら 135 ページから参考資料 1 としまして、安全対策工事着工前の周辺地盤状況を踏まえた耐震安全性評価の、
0:07:10	内容を記載しております。
0:07:12	こちら前回内容については説明済みなので今回結果のみ説明させていただきます。
0:07:18	結果を 185 ページお願いします。
0:07:32	こちら 185 ページから 199 ページまで結果の方載せておりますCC断面もこちらについては追示とさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:07:40	着工前の安全対策工事着工前の評価内容に関しても、目曲げ軸力の破壊に対する評価結果、せん断破壊に対する評価結果また基礎地盤の支持性能に対する評価結果もうすべてにおいて、
0:07:52	影響原価を下回ることを確認しております。
0:07:56	201 ページをお願いします。
0:08:06	こちら参考資料 2 としまして機器配管系の耐震評価に仮適用する影響検討ケースとしております次ページ 102 ページ、お願いします。
0:08:17	参考資料の内容としましては、コンクリート実強度を反映した解析ケース、また、次、地下水位低下。
0:08:24	地下水位低下を反映した解析ケースと、妻壁の剛性を考慮した解析ケースについて、次ページから、最大応答加速度分布図を記載しております。
0:08:34	214 ページ、お願いします。
0:08:42	こちら最後の参考資料 3 となっております。ケミカルアンカの有効埋め込み長さの検討としております。
0:08:48	216 ページをお願いします。
0:08:55	こちら図一位の 1 の赤枠に示すところが、地上部のボンベ庫と呼ばれるところで、こちらケミカルアンカー人によって施工で一体化をしておりますこの
0:09:05	ここに使用されているケミカルアンカーの、
0:09:07	有効見込みナガタについての検討になっております。220 ページ、お願いします。
0:09:16	220 ページに検討の検討方法を記載しております。次ページに 121 ページからその検討方法にのっとった計算を記載しております。
0:09:26	最後に 123 ページお願いします。
0:09:31	有効見込み長さを検討した結果と実際の定着長を記載しております。
0:09:37	以上で低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽についての説明を終了いたします。
0:09:58	はい続いて第 1 ベントフィルタ格納槽についての説明も続けてさせていただきます。
0:10:06	こちら地震応答計算書耐震計算書については、第 6 回補正で出したものを安全対策工事着工前のものでしたので着工後のものに変更して提出をしております。
0:10:18	説明については資料 No. 4 の補足説明資料を使用して説明させていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:33	資料ナンバー4-2 ページお願いします。
0:10:39	こちらすみません適正化箇所が1点あります。今回提出範囲の赤枠がずれております。3-5-2の機器配管系に対する応答加速度13の家解析係数こちらも入っております申し訳ございません。
0:10:53	次ページ3ページお願いします。
0:11:02	第1ベントフィルタ格納槽については参考資料1、安全対策工事着工前の周辺地盤状況に踏まえた安全体制、耐震安全性評価については、
0:11:12	今回追次とさせていただきます。
0:11:17	7ページお願いします。
0:11:24	こちら構造概要としまして本構造物は、
0:11:27	幅24.6と13.4メートル、高さが大体18.7メートルの中十条盤を有する鉄筋コンクリート造の地中構造物となっております。
0:11:38	この構造物はマンメイドロックを介して十分な支持性能を有する岩盤に設置されております。
0:11:45	9ページお願いします。
0:11:51	9ページから12ページまで断面図と概略配筋図を添付しております。
0:11:57	断面図において緑色に着色された箇所が、遮へい器または遮へい以下となっております。
0:12:04	13ページお願いします。
0:12:08	図2の中が安全対策工事に伴う掘削範囲図を添付しております。
0:12:14	次ページより16ページまで掘削範囲の断面図を掲載しております。
0:12:19	17ページお願いします。
0:12:28	評価対象断面の方向についてですけれども、長編方向に感心した場合は加振方向に直交する方向の構造物の長さに対する加振方向と、ここに設置される妻壁同士の離隔が小さく、教授候補となりますが、
0:12:42	短辺方向に加振した場合は耐震要素として機能する妻壁同士の離隔が大きく弱軸方向となります。以上より弱軸断面となる単弁方向、南北方向ですね、から評価対象断面を選定します。
0:12:56	ただし阿部方向においてタイ評価対象外となっている、長辺方向の部材を評価するために、上辺オクからも、評価対象ためを選定いたします。
0:13:06	次ページ18ページをお願いします。
0:13:12	評価対象断面の選定についてです。
0:13:15	先ほど説明しました通り、評価対象ためはA断面及びB断面とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:20	長辺方向についてはCC断面を選定しまして、大変パンテン方向で評価できない部材ですね、については耐震安全評価を網羅的に確認いたします。D断面については、
0:13:32	周囲全周を埋め戻しコンクリートで囲まれていることに加えて、他の断面と比較して部材厚に対する内部が小さいんですけども、平均が同等であるため、耐震評価断面タイ評価対象断面としては選定いたしません。
0:13:44	27 ページお願いします。
0:13:55	地震応答解析手法についてです。A断面とBWにつきましては、施設周辺の地下水位は、設計地下水が、テーマより高いんですけども、施設周辺に、地下数、
0:14:07	地下水以深の液状化対象層が存在しないため、
0:14:10	こちらフローに基づいて全応力解析を設定いたしますCCWについては、設計地下水以深の液状化対象層が施設するために、こちらのフローに基づいて有効応力解析を選定いたします。
0:14:22	少し飛びまして 103 ページお願いします。
0:14:38	こちら曲げ軸力系の破壊に対する許容限界として遮へい機能を損なわないことの確認につきまして、コンクリート標準示方書に基づいて、コンクリートの圧縮ひずみについて、
0:14:48	あと部材終局に相当する限界ひずみ 3500 マイクロですね、または、終局曲げモーメント等とさせていただいております。
0:14:55	126 ページ、お願いします。
0:15:05	こちらから、評価結果のほうを記載しております。評価結果につきましてはこちらでもCC断面については通じとさせていただいております。
0:15:13	表 5-1 にばらつきケースを実施する地震動の記載をしております。
0:15:17	139 ページお願いします。
0:15:31	はい、139 ページから 181 ページまでですね、評価結果の内容を記載しております。
0:15:37	こちらA断面とB断面のみですけどもこちらでも構造強度後また遮へい機能を損なわないことの確認、せん断強度、
0:15:46	の確認と基礎地盤の確認についてすべて東京限界を下回ることを確認しております。
0:15:52	174 ページをお願いします。
0:16:03	MMRの健全性についての記載内容です。すいませんここでも一部適正化がございます。上から 4 行目ですね。また、引張破壊に対する局

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	所安全係数が 1.0 を下回るケースのうち最大となると記載がありますがこちら最小の動きとなっておりますもうしはございません。
0:16:21	次回以降、提出した後で訂正して提出したいと思います。
0:16:27	以上です。次 183 ページお願いします。
0:16:37	こちら参考資料 2 機器配管系の耐震評価に適用する影響検討ケースとなっております。
0:16:43	先ほどの低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽と同様の内容となっておりますましてコンクリート実強度を反映した解析係数地下水低下を反映した解析ケース、妻壁の剛性は、
0:16:55	を考慮した解析ケースについて最大最大加速度分布図を記載しております。
0:17:03	はい、以上で第 1 ベントフィルタ格納槽の説明を終了させていただきます。
0:17:10	はい、鬼頭吉良です。ご説明ありがとうございました。
0:17:14	それでは今説明いただいた、第 1 ベントフィルタ格納槽と、あと、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽について確認をしていきたいと思います。
0:17:26	確認は、
0:17:29	そうですね。1 ベントフィルタプロセスを先にさせてもらって、続いて建屋図、原子炉代替注水ポンプ格納槽という順番で行きたいと思います。
0:17:43	それでは確認をしていきたいと思いますが、ちょっとすみません私からですね
0:17:49	4、4 点ほどですね、ちょっと確認させてください。
0:17:53	まず
0:17:54	今回楠藤安全対策工事不足前の耐震評価っていうのを、補足説明資料の参考資料ということで、添付されているんですけど、
0:18:05	これは最終的には工認の添付資料の別紙として、この第 1 ベントフィルタ格納槽等っていうやつ。
0:18:12	ヒロイテ、注水ポンプ格納槽、あと近づいてカセでいいですかね。この三つについてはそういった位置付けになるというふうに、以前説明を受けてるんですけどそれは変わらないですか。
0:18:27	はい、中国電力イワコケです。
0:18:30	以前の考えとしてですねそのように説明をさしてもらったんですけども今安全対策工事を踏まえた、圧壊等はですね、また、
0:18:38	近々全体のご説明をさせていただく予定になっておりまして、それも踏まえてですねちょっと扱いはまだ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:46	決めて対応させていただけたらと考えております。以上です。
0:18:50	はい。江藤。じゃ、以前説明したところから今検討していてちょっとまた後日改めて説明があるということで理解をしました。
0:19:00	はい。それで、1点目ですけど27、④ですね、4番目の資料の第1ベントフィルタ格納槽の補足説明資料の、
0:19:13	27ページ。
0:19:18	衛藤。
0:19:20	この地震応答解析事項についてですね、これ、今回、ここで説明があったのは掘削後の安全対策工事。
0:19:32	を踏まえたですね解析の手法の選定が2728ということで、説明があつて、
0:19:42	衛藤。
0:19:45	現状は不足があつてそこで
0:19:50	埋め戻し層がリアクターの反対側にはあるんですけどそこは不足があるので離れているので、
0:20:00	それで全応力改築をやりますということだと思んですけど、一方で掘削前ですね耐震評価っていうのはこのAA断面とB断面っていうのは、
0:20:13	解析手法の選定フローとしてはどこにたどり着くのかっていうのをちょっと確認させてください。
0:20:20	はい中国電力河原です。安全対策工事着工前のダムB断面は地下水石の液状化対象造成するため、両方とも有効応力解析としています。
0:20:32	はい、わかりました。そちらについてはまた別途、後日、説明があるということで、よろしくお願いします。
0:20:40	続いて2点目が38ページです同じ資料④の、
0:20:48	で、これも同じような話ですね38ページのところで、
0:20:55	3.2.5のところの上から3行目のまた書きのところですね、ここは安全対策工事に関連する記載があるんですけど、
0:21:05	これは
0:21:08	別途ですね安全対策工事に伴う掘削による地盤の帯磁率への影響評価で説明しますと、土どめの耐震性についてはですね、
0:21:18	ということが書かれてるんですけど、
0:21:21	ここの解析値方としては、全応力なのか有効力なのか、ここについて説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	中国電力清水です。このあたり今、検討は先ほどありました安全対策に伴う掘削による等、
0:21:46	耐震性評価の中でですね断面の選定も含めてですね、今どういう解析するかというのを今検討しておりますので、またこれ後日ご説明させていただきたいと思います。当然森野のところにつきましてはですね液状化というのを検討しないといけないというふうに思っておりますけども、どの断面でやっていくかというところも今検討しておりますので、
0:22:04	また後日ご説明させていただければと思います。以上です。
0:22:09	はい、わかりました。
0:22:11	ここ、後日の説明というところではあるんですけどちょっと安全対策工で掘削をして素行は同盟があつてそれを5割として、
0:22:23	そういう前提で解析をされているというのがあるのでちょっとその辺関係が深いのかなと思うのでまたちょっとその辺りについては説明をお願いしたいと思います。
0:22:35	はい。
0:22:36	江藤筒井イトウ。
0:22:39	マルヤマ. 65 ページですけど、
0:22:44	これはちょっと記載だけの話なんですけど 3.4 の荷重と荷重の組み合わせのところの、な動きのところなんですけど、
0:22:53	ここのところなお書きの最後の方ですね、
0:22:58	設計基準対象施設の評価結果を持ち、重大事故等対処施設の評価を行うという記載なんですけど。
0:23:08	ここは、第1ベントフィルタ
0:23:10	格納槽ってDB給与じゃなくて晴天度単独じゃなかったかなと思ったんですけど、そうすると、ちょっとそこって記載が、
0:23:20	すごくあるのかなと思うんですけどそのあたりいかがですか。
0:23:28	はい。中国電力の吉本です。今ご指摘の通り、この構造物についてはS A単独での使用になりますのでここの記載ちょっと不整合がありますので適正化させていただきます。
0:23:39	はい、じゃあ、それはよろしくお願ひしますちなみにアノ手当大体。
0:23:44	注水ポンプ格納槽の方もですね、同じ不正がありましたので、そこも適正化の方お願ひします。
0:23:51	はい。私から最後なんですけど 124 ページ④の資料の 124 ページ。
0:24:02	材料非線形解析の安全係数の設定。
0:24:08	のところで 123 ページからですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:11	説明があって、その中で部材頁岩日、
0:24:17	ファンっていうやつがですね、これって、
0:24:20	その解析行動
0:24:23	で今回はここではダブルCOMDを使っていて、それで同額マニュアルの 17 タイの
0:24:30	ものですね解析をして、それでこの部材係数っていうのを定めていくのだと、その結果 124 ページですね、表としてですね、書かれていて、
0:24:43	最大値が 1.1 ですよ、ということはわかったんですけど、これって何か
0:24:49	今までのサイトですとそこの設定根拠となるものですね、江藤ご理解適用してその一つ算定プロセスっていうのも、
0:25:01	説明があったかと思うんですけど、
0:25:03	今回は 1 まででは特にそういったものをつけるっていう、
0:25:08	ことはしないんですかそれとも、もうこれは先行で説明をされているからそれを生きていけるということなんでしょうか。そのあたりちょっと確認をしたいんですけど。
0:25:23	はい。中国電力の吉本です。今ご指摘の部材係数が間引い湾についてはこれ解析者、
0:25:31	最考え方の差異による、
0:25:36	違っているのを補正するためのケースになっていて、
0:25:41	その解析会社によって値が異なってくるものになっていて、おそらく
0:25:46	久慈の全体方針のほうで記載すべき内容だと思いますので、実際に実験体と比較して解析係数、
0:25:54	この解析をした結果、どういうふうに変更を定めてどのように比較したっていうところのプロセスがわかるように取りまとめてご説明したいと思います。以上です。はい、わかりましたじゃ副業土木の共通事項のところ
0:26:08	されると、今ここはダブルCOMDの話なんですけど
0:26:13	ファイナンスったらもう、
0:26:15	売れる非線形解析やっているとは思いますがそれ二次元でしたら 3 次元でしたっけ、これって部材結使うんですかねっていうの、
0:26:28	はい。中国電力です。ファイナンスた材料非線形解析を今行う予定ではありません。
0:26:50	はい。中国電力ヨシツグでございます。屋外重要土木構造物では今使っていないんですけども

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:57	浸水防護施設の方でも同様に使ってる設備があったと思いますので、同様に基本事項の書いてある包摂の中で、ご説明の方をさせていただきたいと思います。以上です。
0:27:09	はい、じゃあ、そちらについてもよろしくお願いします。
0:27:17	ちょっとさっきの話で、ダブルコークD。
0:27:22	ダブルコムで基本的に
0:27:24	一緒によって違いが出てきてるっていうのは、全部フォーラムのバージョンが必要じゃなくて、
0:27:30	あれですよ。前川先生の出資だと。
0:27:35	夫婦
0:27:37	ちょっとプログラムをやって帰ってきてるから、
0:27:39	自分たちで基本的に粗相いじってるから、差が出てきてる、そういう理解ですかそれとも要素とか、そういう大きさによって違うのか。
0:27:49	それをちょっと確認したんですけどあっちゃいけないっていう話じゃなくて、
0:27:53	そういうことがあるから、多分 224 ページのあれっていうのはやっているの、前田前川さんが自分のところの、
0:28:01	出身者がプロム行って、
0:28:05	出て行っているんで卒業していったら、そうしたことによって差分が出てくるだろうし、ゼネコンによって、だから、
0:28:14	標準的な実験結果に基づいて、基本的に
0:28:20	舞台係数を求めるということにしてるんで、それは問題ないんだけど、一応要因としては、
0:28:26	そういう話があって、それはそういう解釈でいいのかということと、
0:28:32	あたりはしょうがないと思うんですけど、1.12 って、他社に比べるとかなりJA実際に、
0:28:40	そうそう、それは気になる話じゃないんだけど、その辺は、今までもみんなフォーラムでもダブルコミュニティを知らされていてそのバージョンで使ってれば大体みんな 1.3 になってるんだけど、
0:28:51	この 1.1 になってるっていうのは、
0:28:55	もし今わからないんだったらその計算者に、ちょっと事情を聞いてみて、それを使って計算していて、基本的に部材係数として反映してるから、
0:29:05	基本的には、仕様書、消臭剤の操作マニュアルに準じてやっているの、特に問題ないと思ってますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:29:13	嘘を、
0:29:15	実際のそちらの方、状況としてどういう状況。
0:29:18	なのかっていうのだけ、お互い把握しといた方がいいのかなと思いますんでそれは口頭で回答してもらってもいいんですけど。
0:29:26	はい、中国電力の吉本です。まず一つ目の、なぜ、解析が解析者同士に違うのかというところにつきましては基本的な、
0:29:36	要素分割の方法とかっていうのは、コンクリート標準表に記載がありますがそこが、要素分割が微妙に解析者同士で違ったりとか、
0:29:44	あとは、せん断耐力を実際に解析でどこで定めるかとかその辺も解析者同士で違いがあると思いますので、そういう意味の差分を補正するためのケースだと認識しております。
0:29:56	二つ目の、
0:29:58	今回の解析会社が12%程度の差分しかないということで、他の先行と比べて、なぜ小さいのかってのはちょっと今答えを持ち合わせていないので、もう少し
0:30:09	確認をしてみようと思います。以上です。
0:30:14	はい。
0:30:15	よろしくお願いします。
0:30:17	他に、確認する点のある方お願いします。
0:30:26	規制庁の三浦です。ちょっと私の方から何点か確認をさしてください。
0:30:33	まず資料の、
0:30:36	趨勢と3番ですか。
0:30:39	2番、ごめんなさい、2番の添付資料の、
0:30:43	これ53ページからなんですけど、ここで最大応答加速度分布図を示されてますよね。
0:30:53	これで何、これ鉛直方向の土佐イダ大戸加速度、鉛直方向の水平部材の
0:31:01	最大応答加速度分布っていうのが図示されていないような気がするんですけど、ちょっとこの見方を教えてください。
0:31:17	はい、中国電力の石野ですちょっと今の県立で確認をさしてください。
0:31:21	衛藤。
0:31:23	今おっしゃられたのは、鉛直材っていうふうにおっしゃられておっしゃられたんですけど、
0:31:29	例えば図の4-1見ますよね。これ私の勘違いかもしれないんですけど上のほうは水平応答加速度ですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:38	水平縦部材に、
0:31:41	冒頭加速度の分布が示されてますよね。
0:31:44	でした今度鉛直腔ですよ。
0:31:47	これも縦部材の、
0:31:49	部分の鉛直加速度っていうのは何か図が出てますよね。
0:31:54	でも水平部材の加速度分布ってないですよ。
0:31:59	これどうしてですかって言う、非常に単純な質問なんですか。
0:32:04	はい。中国電力の吉本です。
0:32:06	今当社の考えとしましては水平と鉛直で、記載方法を分けるっていうのをしておらず、各鉛直部材の設定
0:32:16	鉛直部材の節点に発生してる加速度を水平鉛直でそれぞれ記載しております。
0:32:23	ですので、
0:32:25	今おっしゃる通り、水平部材における加速度っていうのは、
0:32:32	んとですね今、
0:32:34	出てる値を見てもらっても
0:32:37	水平方向にほとんど差分はないとっていて、そういう意味で記載については、
0:32:43	鉛直方向の接点、
0:32:46	における発生値としております。以上です。
0:32:49	ごめんなさい。
0:32:50	そうすると、よくわからないんですけど、
0:32:54	その水平報告と運輸省版なり町版なりって、あと底盤ですよ。
0:33:00	そこに生じる鉛直加速度ってこれ、どこをどう見ればいいんですか。
0:33:06	例えば、下の座と 532 と 580。
0:33:11	でもこれは端部の加速度ですよ。音加速度ですよ。
0:33:16	でも実際には水平部材の部材中央とかで、鉛直方向だったら少し増幅されたりってことも出てきますよね。
0:33:24	それをどこで見ればいいのかっていう。
0:33:43	はい。中国電力ヨシツグでございます。今おっしゃられているものについてこの部分で今、実施できてないのが正直なところでございます。はい。で、一応、先ほど吉本が申しました通り、
0:33:57	ここの例を示している。
0:33:59	応答加速度については水、鉛直部材の水平方向をメインに取って、その鉛直、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:07	方向の加速で今お示しているものでございまして、
0:34:11	センコー、
0:34:13	と。
0:34:14	を見まして一応今この形でお示しをしているというところが、正直なところでございます。以上です。センコーもそうしましたっけ。
0:34:24	いや例えばねこれ宇井ショウガンなり、底盤なりを設計するときの加速度っていうのはどういう扱ってるんですか。
0:34:33	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられるものについてはぴあの数字として出てきておりますので、それを解析上はですね、それを用いて設計をにはしておるんですけど、ここにこの表示として今お示しができてないというところでございます。以上です。
0:34:50	これはもうプログラムの問題。
0:34:52	そういうことではないんですよ。
0:34:55	いや、多分これだけ見るとやっぱり、
0:34:58	キーな感じも先行でそういうふうにやってるからってのもあるけど、
0:35:14	やっぱり、鉛直部材に比べたら、そういうの程度はイイダして、そんなに極端な差はないだろうというところで、ふうん。それはわかるんですけどねけど、
0:35:26	運用上等々やっぱりこう、
0:35:29	やっぱりちょっと何かこう図として適正じゃないなっていう気はちょっとするんだけど。
0:35:52	間でもあるでしょう部材設計についてもこの加速度を用いてんじゃないのショウガンとか長坂とか、テーブルアノ底盤
0:36:17	ちょっとわかりました先行でそういうふうにやってるということで、
0:36:21	それは理解をしました。
0:36:24	こういう図っていうのは、土木独特だよ。建築でこんなふうないから。
0:36:32	柏湖全体のモデルで、縦だけ大坂蘇武。
0:36:37	確かにしてますよね。2番としての全体の、しかも真ん中の端っこだけ。
0:36:44	なんかそんなふうに、
0:36:46	わかりました。もうそれはそれで納得します。
0:36:50	それで後、資料4の11ページ。
0:36:57	資料4の11ページなんですけど、
0:37:00	これちょっと以前から気になったんですけどね、051、結構使ってるじゃないですか。
0:37:07	D51井の資金ね。それで阿藤

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:12	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の 5 時使ってますよね。
0:37:17	で 51 なので、おそらくこれ機械過ぎて、
0:37:21	ついてくるわけですよ。
0:37:23	そうする等、実際にはその機械継ぎ手の表面からのかぶるやつを取らなさいけないので、
0:37:30	D51 の資金中心ってのはかなりコンクリート内部に入ってくるんですよ。
0:37:35	そういうことを考慮されたファイバーモデル。
0:37:38	ですとか、MI関係になってます。
0:37:54	はい。中国電力ヨシツグアノと詳細確認はさせていただくんですけどもおっしゃられる通り施工上はですね、
0:38:01	051 を機械引き継ぎてやって、
0:38:05	やはりCABRIが必要なものでございますのでCABRIをとっております。で、
0:38:11	構造計算書上は、中心CABRIをちゃんとCABRIとったもので、かなり 10 何センチ、奥にあるところの資金、
0:38:22	1、
0:38:34	近い引き継ぎ手の部分も入っている、ちゃんと 80、
0:38:38	の部分が余裕を持って確か 150 とか、そういった
0:38:41	ものをやっていたと思うんですけども、ちょっとすみません、最終的なその部位を確認して取れてませんので、ご説明をまたさせていただきたい。そうですね
0:38:52	おそらくその安全側を取っていておそらく土木関係はすべてそのファイバー
0:38:59	校正とかいうので、一律やってると多分思うんですよ。
0:39:03	そのためには 05 時も念頭に置いて、機械付けても念頭に置いてかなり内側に入れてる状態でやられてるんじゃないかなと思うんですけど。
0:39:12	それはちょっと別途説明していただけますか。
0:39:15	D51 の鉄筋に解析ではこう入ってかぶりこんだけ取って、実質はこのぐらいの数字になって、施工誤差を持ってはいるんですけどね。
0:39:24	で、それを保守側になるように、こういうふうに、スモールで劣ってますと。
0:39:30	いうのはちょっとどっかで説明してください。
0:40:15	ね。
0:40:21	あ、すみません、お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:25	それとですね、資料 4 の、
0:40:30	これ記載だけだな、76 ページ。
0:40:34	77 ページですか。
0:40:38	これタイトルの部分に、
0:40:41	表 3-8Dで何とかの解析ケースって書いてあってここA断面B断面とか、
0:40:48	塩野さんの中、
0:40:50	旧かな、これはCC断面ですよ。
0:40:53	タイプの方にこれ付け加えといてください。
0:40:56	はい。中国電力河合ですかしまりました。次回そのように訂正、訂正して、提出させていただきます。
0:41:03	はい。よろしくお願いします。
0:41:06	次がですね、
0:41:09	これは教えていただきたいんですが、やはり資料 4 の、
0:41:15	151 ページとか 152 ページなんですけど、
0:41:21	151 ページで、このせん断照査したときに、この行かきルームの部分が、
0:41:28	オーバーしてしまっていると、1.0 で、それで非線形残留線形をやりますってという話が記載されてますよね。
0:41:37	赤で、評価対象断面これは多分スラブが非常に何つつかシェアスパンが短いのでここは厳しくなったんだろうと思うんですが、
0:41:46	それと 149 ページの材料非線形のモデルのですね、
0:41:52	形状とか、ちょっと合わないと思うんですけど、ちょっとこれ、
0:41:58	このスラブを対象にしてなぜ 152 ページのような解析モデルで解析をされるのか。
0:42:05	という部分ちょっと説明をしてください。
0:42:15	はい、中国電力の吉本です。
0:42:17	今のご指摘は、151 と 152 のモデルのイメージが合わないという、
0:42:23	ことだと思うんですが、
0:42:25	えっとですね、152 ページのこの要素分割図が、実際はですね、右に 90 度回転したような、
0:42:33	富型になります。ですので、今、
0:42:39	要素プロパティ要素分割図、
0:42:46	おっしゃる通りだと思いますんで、いやそれもね、それも多分そういうことなのかなと思ったんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:54	右に 90 度回転させてもう、
0:42:57	2 メーター600 っていうのはこの中央部の壁じゃ壁厚じゃないんですか。
0:43:02	151 で言っている。
0:43:05	151 ページのちょうど、構造物のど真ん中の下の方によるグリーンが 260 の圧じゃないかなと思ったんだけど、
0:43:17	対象となるのは 170 じゃないんですか。
0:43:22	ちょっとこれ、260 っていう壁厚ってのはどっから出てきてんのかなって のはよくわからない。
0:43:33	で 90 度回転させたとしても、
0:43:36	この図の 5-15、ここで示させている要素プロパティこれを床スラブの部 分に表してんだと思うんですけど、これ長さ関係も合わないし、
0:43:51	よう正直言ってこれ全くわかんなかったです。
0:44:00	中国電力ヨシモト少々お待ちください。
0:44:34	はい、中国電力イワコケです。すみませんちょっと確かにおっしゃられる 通り、
0:44:38	実際の構造等ここに書いてある寸法や後、また方向もまわしたりとかし てですね、
0:44:44	今すぐにちょっとここ若生玲子正しいですということが即答できませんの で申し訳ありませんけれども持ち帰ってまた確認して、さらにこの図もで すね、わかりにくい状態になってますのでわかるように、
0:44:54	記載をまた直してですね、ご説明させていただけたらと思います。以上 です。
0:45:01	これおそらく違うと思うんですよ。このモデルは、
0:45:06	モデルが違うのか、もうこれでやって結果が違うのかよくわからない。
0:45:11	なので、これはもう一度きちっと確認をして、解析結果の妥当性も含め て検証してください。
0:45:19	はい。中国NPオクです承知いたしました。
0:45:29	規制庁の服部です私もそこ少しわからなくて、どういう回転させたりいろ んなことをさせながら見たんですけど、
0:45:39	おそらく今の事実確認で、
0:45:42	実際の
0:45:44	小構造物の形があって、それをこういうふうに拡大して、ここを取り出す とこうなってそれがこういうふうに分割するようになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:54	それに対してこういう拘束条件をここに付けて、こういうふうにやってますというそういうプロセスをきちっと説明していただくんだと思うんですけど。
0:46:01	その際に、
0:46:03	果樹、154 ページにある果樹。
0:46:08	これもどういうふうに荷重を取り出して、
0:46:11	どういうふうにかけてるのかっていうのもあわせて、
0:46:15	そのプロセスをきちっと示していただきたいと思いますがよろしい、いかがでしょうか。
0:46:35	はい。中国電力の吉本です。改めて確認はさせていただきますが、土肥やってることは、
0:46:41	二次元の動解でファイバー要素に発生してる、断面力、
0:46:45	に相当するものをかけるように、
0:46:48	在外選挙でもかけてますので、それぞれのファイバーと税理士連携で、要素の
0:46:54	寸法と合うように設定をしているはずで、
0:46:58	もともと発生する断面力を再現するような、MN級をかける。
0:47:03	ですが、さっき、
0:47:04	衛藤ご指摘だったモーメントについては 154 ページの、
0:47:09	一番下のところに、
0:47:10	記載をしておりますけど、材料非線形解析のやり方として、水平荷重鉛直荷重のみで、回転というのは、
0:47:18	入らないような解析になってますので、
0:47:21	それを
0:47:23	水平方向鉛直方向の荷重で、
0:47:26	モーメント表現できるような荷重に置き換えて、入れております。
0:47:31	ですので先ほどの予想分割の話を含めてそこら辺のプロセスがわかるように、この辺の記載をもう少し拡充しようと思います。以上です。
0:48:14	規制庁のハットリですはい江藤をよろしく申し上げますじゃ、過剰の方についてはその断面力図から持ってきたってのはわかるんですけど、そもそもその元の断面力図が、
0:48:26	簡便な断面力図しかなくて、
0:48:28	多分今の断面力ずーからこの荷重に持っていくプロセスを示すにあたっては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	その部分だけでも結構なんですけど、詳細なもつと細かい各接点ごとのモーメントだとか、次、せん断力だとかそういうのがないと多分、
0:48:47	うまく説明できないのかなという気もするので、そこら辺も踏まえてですね、ちょっと荷重の
0:48:53	どういう断面力図が、残念ながらこうやってこの断面図のこういうところを使ったらこういうふうでこういうふうにするとういうふうな荷重になってそれをかけてるんですみたいなそういうプロセスまで、
0:49:06	わかるとですね、ちょっと余りにもブラックボックス化しすぎて、そこら辺がちょっと力、理解できないので、そこら辺を確認したいと思いますのでよろしくお願いします以上です。
0:49:17	はい。中国電力、吉本ですご指摘の趣旨、理解しました。例えば、資料4の130。
0:49:25	1ページにありますような、断面力図を、材料非線形の対象となった部材に限定してもうちょっと拡大した上で、
0:49:35	発生してる断面力がわかるようにした上で、それがどう材料非線形に反映されてるかということも、わかるように記載しようと思います。以上です。そうですね。ちょっとこの部分は丁寧にちょっと説明してください。箇所数財産権使ってる箇所も使えるのは少ないので、
0:49:52	そんなに大きな手間にならないと思うので、よろしくお願いします。
0:49:57	それとですね、やはり資料4の、
0:50:03	195ページ。
0:50:09	195ページの上の図なんですけどね。
0:50:13	上の図で、すごく側壁に加速度の膨らみがありますよね。
0:50:19	でこれはすごくキーです。
0:50:22	この解析係数って地下水を落としてるケースなので、他のケースはあまり応答加速度変わらないと思うんですよ。実際変わってないし、
0:50:30	ところが、ここだけ硫黄にこういうふうな加速度分布が出てる。
0:50:36	この理由をちょっと教えてください。
0:50:49	はい中国電力川田です。すいませんご指摘のあった195ページの図の3-2です。こちらすみません地下水低下ではなくて妻壁の剛性を考慮した解析ケースです。
0:51:03	すま壁の剛性を小麻生勝真壁の剛性を考慮したんですね。
0:51:07	それを考慮すると、なぜこういう観測でも出てくるんですか。はい。中国電力河井ですすみません、詳細じゃちょっと今答えられるオチ汗がないので、また確認して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:18	後日回答させていただきます。
0:51:25	これについては、ちょっと私もちょっと勘違いしたんですけど妻壁を考慮してるんで、その考慮の仕方によってはこういう造形も出てくるかもしれないんですけど、
0:51:35	ちょっと丁寧に説明してください。どこの部分にどう妻壁を考慮して、その部分があるためにこういうふうな増幅現象が起こって、
0:51:44	だから、こういう結果になってますっていうところを少しきちっと説明していただけますか。はい、中国電力からです。
0:51:52	こちら、持ち帰りまして十分説明できるよう資料準備させていただきたいと思います。はい。よろしくお願いします。
0:52:00	ベントフィルター。まずそこだけです。はい。私からは以上です。はい。
0:52:10	清城野タニグチです。ちょっと資料の作り方についてちょっと教えて欲しいんですけど。
0:52:20	添付の書類について添付の書類の、これは2番目の資料。
0:52:26	2番目の資料の7ページ目のところに、地震応答解析のフローが書いてあって、ここで、
0:52:35	要は単性評価に用いる変形と断面力の接地圧を地震応答解析でやります。
0:52:41	で、機器の配管系の応答加速度をやります評価しますって書いてあるんですけど、
0:52:48	実際展望の中では、断面でこのA棟を消化とか変形の評価出してなくて、
0:52:57	結局応答加速度しか書いてないっていう状況になってるかと思えますけどそれは、そういうのが今までのやり方だったからそれにしたってことですか。
0:53:11	はい。中国電力の吉本です。衛藤。まず、この地震後計算書におきましては、今おっしゃられたように機器配管系の応答加速度と、土木の耐震評価に用いる江藤土地を算定しております。で、
0:53:26	土木の評価につきましてはこれに付随する耐震計算書がございますので、そちらの方に断面力図等を示して、
0:53:33	この
0:53:35	地震と解析によって、どんな音値が出てきたかということは記載しております。
0:53:40	で、機器配管系の応答加速度については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:44	関連する資料が時レンガのものになりますので、土地についてはこの土木の地震応答計算書の中で最後に、
0:53:52	最大応答加速度分布図という形で記載させていただいておりますので、これは施工も含めて、このような計算になっているのではないかなと考えております。以上です。はい。
0:54:02	それをそうすると、今回さ、従来と同じようにしたっていう話だと思いますけど。
0:54:10	そうすると、この4番目の資料、これは地震応答計算書と耐震性についての計算書の補足説明資料ですよ。
0:54:20	この補足説明資料の中には、
0:54:23	地震応答解析の加速度分布の話って一切書いてないんですよ。
0:54:28	断面力が突然ポンと出てきてて、何、何も説明されてない状況になってる。
0:54:34	で、
0:54:35	本当は、添付添付の最初のところのフローに沿った形で、どっかで、どう、
0:54:45	ちゃんと説明をしておかないといけないのかなと思ってるんですよ。だから地震応答解析ではこういうことやります。
0:54:52	それは応答加速度はこうでした。断面力こうでしたっていうのは、一色ナイトウ。
0:54:58	基本的に何が書いて書かれてるのかちょっと。
0:55:02	非常にわかりにくいので、
0:55:04	テンプレはこういう書き方にしたっていうのは、いろんな理由があって、こうしたんだと思いますけど。
0:55:12	補足計算書の方では補足の説明資料の中では、
0:55:17	このフローに沿って、
0:55:19	そういうことをやったっていう証拠を残して欲しいんですよ。
0:55:23	そうじゃないと、結局、加速度の分は、添付を見なさい。補足し、説明資料には書いてありません。
0:55:32	ていう書き方になってしまってるので、
0:55:35	いえ、全体としてそのこのフローを満足してないようなイメージになってるので、
0:55:41	感覚的に言うと、補足説明資料の中にちゃんとフローを入れて、
0:55:45	フローのこの部分はどこに書いたかっていうのはちゃんと書くなりして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:50	そういう説明をしないと、一つの書類として成立してないんじゃないかな と思ってるので、その辺をちょっと、
0:55:59	構成を特に補足の方でもいいので、説明をしておいていただけないかな と思ってるんですけどいかがでしょうか。
0:56:25	はい。中国電力の吉本です。
0:56:27	ご指摘の趣旨わかりました資料④で地震応答計算書を補足しているに もかかわらず、それに対するアウトプットについての記載がないというこ とで、それはおっしゃる通りだと思いますので、
0:56:38	この今の補足説明資料は土木の耐震評価、
0:56:42	一連で説明するような構成になってますので、例えば参考資料 2、地震 応答解析の結果を再掲したりだとか、するような形で、
0:56:53	地震後計算書の応答加速度のアウトプットについても
0:56:56	言及するような構成に見直したいと思います。参考資料でも良いと思 いますけど、ただ、参考資料でつけた場合にはその参考資料が、この部 分の参考資料ですよっていうのを担当、
0:57:09	道標を入れといてもらわないといけないので、突然ポンと坂越オカ書い てあるってのは困りますので、ちゃんとここにこれを、これを書きます。
0:57:19	それを参考書に書きましたっていうふうに表現をしておいてください。
0:57:23	はい。よろしく申し上げます。
0:57:27	それ。
0:57:28	から、
0:57:33	4、4 番目の資料の 139 ページ目。
0:57:40	これはですね。
0:57:46	解析ケースの調査値が最大となる地震動。
0:57:52	この評価のところだったと思いますけど、
0:57:56	ごめんなさいちょっと違うかな。
0:58:00	へえ。
0:58:01	ちょっと違う。
0:58:10	ちょっと場所が見つけられないですね。
0:58:19	そうですね。そうですね。
0:58:29	ちょっと見つけられないので別にします。
0:58:37	それからですね。
0:58:39	④番目の資料、地下水のところですけども、
0:58:46	これわあ、
0:58:48	えっと、要は 4 番目資料の 25 ページ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:54	この設計地下水は、
0:58:58	基本的に今、安全対策施設の掘削を考慮に入れたときも、このレベルで評価するって位置付けになるんですか。
0:59:14	はい中国電力浦です。はい、おっしゃる通り、それでこれで評価をすることの妥当性っていうのはどっかで説明される予定ですか。
0:59:37	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:59:42	これも安全対策の全体の話に関わってくる各条文のものだと思っております。で、地下水については、今地盤の支持性能の中に浸透流解析の方をさせていただいております。
0:59:55	その中では今
0:59:58	掘削による影響については、
1:00:02	江藤保守的に、今のこの
1:00:08	土木構造物全体については地下水経過設備自体にも期待しない高い。
1:00:14	水位でやりますっていうのをまず、浸透流解析で出てきた値を使って今この
1:00:19	絵と当初のものをやっておりましたんで今回掘削後のものにつきまして
1:00:23	も、
1:00:23	保守的に掘削前、
1:00:27	のものを使うというのを、一文入れさしていただいて、ここに繋がるような条件を書かさせていただきたいと思っております。それが保守的かっていう根拠、考察等は、その地盤の恣意性の方の
1:00:42	シンドリカ意識の中で一部ご説明をさせていただいてそれからこちらの方に流れているようなことを今考えております。以上でございます。
1:00:53	はい。
1:00:54	はい。衛藤。
1:00:56	現状今、埋戻し動のところの部分について、地下水を雨を降らして大雨降らして、それが浸透してきて、流れて、溜まっていくという構造になっております。で、
1:01:09	岩盤部分につきましては今の地下水がそれほど高くなっていない状況なんですけれども、井戸を動かしていない場合については、15メートル盤のところの埋め戻しのところに、大体地下水が上がってきて今、
1:01:24	上がっているような状況になってますんで、そこを掘削してしまう。
1:01:29	状況、今回の状況のものなんですけれども、そうすると、そこが浸出面という要は

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:37	地下水が不地表面に出てくるのと同じような条件の設定に、実際はなっ てしまってますね、地下水自体実際低くもって低くなってしまって、
1:01:48	岩盤部分も、
1:01:50	もっと低い、今のここ 15 メーターもかなり低いような値になってきて、解 析としてはそれが現実上にはなるんですけども、今、土木構造物とし て地下水高めの評価をまずやって、
1:02:03	そのあと、地下水位低下設備が効いている、低い状態の両方を一応検 討するというふうになっておりますので、保守的な高めにしているものを 下げてしまうことはせずに今のままのものを使いたいと、今の
1:02:17	止め戻し度があって、地表面まで地下水が上がっていくというものが保 守的だということころを
1:02:23	2 番の申請の野川の方ですね、考察と含めてご説明をさせていただき たいなというふうに考えております。
1:02:49	それを説明しないといけない。
1:04:37	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:04:40	今、我々としても地下水位が高い場合と低い場合それぞれ、どういう目 的でやってるのかっていうのを、地盤の申請の方でも記載しております ので、その中で、今回の
1:04:52	管理対策による掘削、
1:04:54	5 の場合、どういうすればいいのかっていうのを、あの地域をさしてい ただいてですね、データのまたご説明の方させていただけたらと思っ ております。以上です。
1:05:06	基本的にさ、そういう経緯を含めて、補足資料の中では、わかるようにし ておいていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひします。
1:05:21	規制庁のハツリですちょっともう一度念のために確認したいんですけ ど。
1:05:25	先ほど、
1:05:26	地下水位が高い場合、
1:05:29	の評価、こういう基本ケースになると思うんですけど、
1:05:32	それに加えて、
1:05:35	低い方、例えば地下水位低下設備を、が効いてるときの高さとかいろい ろあると思うんですけど、低い場合についても、
1:05:45	構造物の土木構造物の評価をする。
1:05:50	ということですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:56	はい中国電力です。地下水位が低い場合については機器側への影響検討としてのみで行って土木の評価としては今実施の予定です。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。ちょっと念のために確認しました。
1:06:15	もう1点ですけども、
1:06:18	今、4番目の資料の41ページ目のところ、
1:06:29	えっと、
1:06:30	これは、
1:06:31	架空範囲の底面の豆ブロックを、
1:06:35	上も同制度として保守的にモデル化するっていう表現になってますけど、
1:06:42	基本的に、
1:06:45	眼どこ埋戻しとして評価するっていうのは、
1:06:50	保守的になるんですか。
1:06:56	中国電力やっぱ41ページの38ページ目のところかなあ。ちょっと待ってね。
1:07:04	ちょっと待ってくださいね。
1:07:06	藤。
1:07:07	はい。中国電力川田です。はい。
1:07:10	すいません39ページの図3-11の評価対象事実だというふうに思います。はいMMRの図面右っかわの箇所がすいませんこちら図が間違っておりますこちら間違ってるんですか。ごめんなさい。はい。適正化、修正して、
1:07:26	そういう意味です。わかりました。今回は梅本指導となっております。
1:07:31	そうですね。
1:07:34	はい、梅本篠田です。そういう意味ですね。申し訳ございません。
1:07:38	はい。
1:07:56	規制庁の話です。
1:07:58	四つめの資料なんですけれども、
1:08:01	通し番号の19ページ。
1:08:05	19ページで、
1:08:07	表2-4で材料の物性値っていうのがあって、
1:08:11	材料の高も食うで、
1:08:14	ちょっと構造物っていうのがあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:17	ちょっと違和感があるんで攻めて鉄筋コンクリート製ぐらいは併記して欲しいなと思うんですが、
1:08:23	他の過去の構造物で、みんなこういう書き方になっているんだったら、今更なので、
1:08:30	これでいいんですけど、
1:08:33	どうでしょう。
1:08:42	はい。中国電力の吉本です。屋外重要土木構造物については、RC、
1:08:49	のものを、
1:08:50	がほとんどで、例えば取水口だったりとか鋼材を含むものもあつたりしますので、
1:08:58	記載としてはその構造物が、
1:09:01	何の材質のものなのかっていうのを、
1:09:04	この構造物の下に括弧鉄筋コンクリート製等を追加するようにして、もう少しわかりやすいようにしようと思います。以上です。
1:09:13	規制庁大橋です。これは
1:09:17	他の
1:09:19	補アノ報告書と、
1:09:22	整合性合わせればいいぐらいの話です。
1:09:26	あと
1:09:28	単位体積重量 24kNなんですけれども、
1:09:32	ここのフィルターベント層が、
1:09:38	前の方の、
1:09:40	9 ページとかの構造物を見ると、ほとんどが一射撃。
1:09:45	ということになってて、
1:09:47	物によっては遮へいキーに使うコンクリートの単位体積重量が、
1:09:53	へえ。
1:09:54	かなり重いものを使う場合があるんですけども、
1:09:58	ここ、今回の場合は、普通の鉄筋コンクリート製と同じっていう理解でよろしいでしょうか。お願いします。
1:10:16	すみません少々お待ちください。
1:10:24	ありがとう。
1:10:33	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:10:37	ここ、再度確認してもう 1 回ご説明させていただきますけれども、何か重量高は使わずに、今の密度のもので、十分な

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:49	構造部材厚を確保して、遮へい要求を期待する、機能するってということで、当初設計をしていたと思いますので、
1:10:58	施行時に書いてないと思いますので、そこだけ確認はちょっとさしていただきましてまたご回答の方ちょっと口頭でまたご対応ご回答はさせていただきますいなと思います以上です。
1:11:09	規制庁大橋です。これも確認なんですけれども、
1:11:14	24 の下の 22.6kN%
1:11:20	立米も、
1:11:21	これも
1:11:23	建築学会の加入指針とかに書かれてる数字ってということでよろしかったでしょうか。
1:11:35	はい、中国電力の吉本です。江藤アノ金コンクリートの体積重量は、コンクリート標準示方書だと 22.5 から 23 になってまして、
1:11:45	一方
1:11:46	土木構造物でFLIPを、
1:11:48	どう、全応力解析が混在するようなものもございますので、FLIPの方は港湾の技術指針の方、参照しております、それが 22.6m金コンクリートを設定しておりますんで、
1:12:00	両方に対応できる重量として今 22.6 を設定させていただいてます。以上です。
1:12:06	規制庁大橋です。はい。承知しました。
1:12:10	別のコメントなんですけれども、同じ資料の 73 ページ。
1:12:16	73 ページの、
1:12:23	すいませんな、ごめんなさい 69 ページでした。
1:12:26	69 ページに、
1:12:28	表 3 の中にCC断面の解析係数があるんですが、
1:12:32	これの解析手法有効力解析と全応力解析等、
1:12:37	あと地盤の物性値のう。
1:12:40	プラ数ワンシグマ見るかーoneシームは見るから、
1:12:44	ちょっと
1:12:46	有効力解析はワンシグマを見て全応力解析は見てないっていうのがちょっとわからなかったので説明をお願いします。
1:12:58	はい、中国電力の吉本です。
1:13:00	衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:01	今、この5ケースの中で、全応力解析のマイナスワンシングマがない理由についてなんですけれども、
1:13:09	実際、全応力解析よりも有効力解析の方が地盤の剛性や柔らかいものでやっております、やわらかい方の影響というのはそちらの方で見えておりますので、全部解析では片側に、
1:13:21	そういったもので確認をしておるとい、
1:13:25	考えです。以上です。
1:13:33	ヒダ。
1:13:34	いや、
1:13:36	機器は後で書いてあるんで、
1:13:39	機器はね、73ページ。
1:13:41	有効量譴責解析がメインなので、線量力解析は、
1:13:50	検討用のケースだから、
1:13:52	片方だけでもいいだろうっていうそういう考えでしょうか。お願いします。
1:14:01	はい。中国電力の吉本です。
1:14:03	衛藤。
1:14:05	この
1:14:06	有効力解析に加えて全応力解析をやっている理由については、今、
1:14:11	保守的に設計地下水を高く設定しているの、周辺地盤が液状化することになるということ、有効応力解析やっておりますけれども、実際は地下水位低下設備新設しております地下水位が低い状態に、
1:14:24	なっている状況があります。なので、
1:14:28	地盤が、今設計してるものよりもかたい条件というものの評価も必要になっておると考えておましてこのようなケース構成にしております。
1:14:40	はい。中国電力は、少しだけ補足をさせていただきますと今回の埋め戻しどう液状化する材料にしているんですけれども、
1:14:48	実際の室内試験等をやりますと、実際は液状化しないケースっていうのも出てきております今の地震動相当の荷重で室内試験をしておりますので必ずしもかな、液状化する材料かどうかっていうところの確認も含めまして、
1:15:04	液状化しない場合の検討ケースというのを、
1:15:07	かたい特に硬くなって、液状化しないというものを確認をさせていただいてます。
1:17:42	オオハシのポイント以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:59	はい。規制庁の仲村です。記載と確認とですね、何点かあるんでよろしくをお願いします。私の方から全部資料 4 でちょっとコメントしますけども、
1:18:13	まず資料 4 の 9 ページですね。
1:18:18	もうこれ、大した話じゃないんですけども、
1:18:22	9 ページに、
1:18:23	平面図があるんですけども、そのあと、
1:18:27	断面図ですね、何点か
1:18:31	A、B、Cっていうふうに書かれてるんですけどできれば、以前も同じようなこと言ったと思うんですけど、A断面B駄目C断面とかに、
1:18:41	どこの 1 高さ 0。
1:18:44	その平面図、
1:18:46	かっていうのを示して欲しいなど。
1:18:51	ていうのが 1 点ですね。場合によっては
1:19:00	そうですね。ほんで、本当は、スライスは今、1 枚しか書いてないんですけど、
1:19:06	何枚か必要なところ、
1:19:08	要するに全体の構造がわかるようになっていうと、やっぱり、
1:19:14	スライスとこう断面と、
1:19:17	言ってもらった方がわかりやすいなというので、
1:19:22	低圧の方も同じですけども、まず 1 点目は、以上ですね。
1:19:28	はい。中国電力河原です。
1:19:31	ご指摘の通り、平面図にエレベーション記載とあと必要に応じてエレベーションごとの平面図を追加したいと思います。
1:19:38	はい。よろしくをお願いします。これちょっと確認ですけども、
1:19:43	今 9 ページ 10 ページのところ見てると、
1:19:47	平面だけがこうマスキングになってるんですけど、
1:19:54	これはやっぱりマスキングが必要だっていうこと等で、後で低圧の方を見ると、
1:20:01	何か低圧の方はこう、
1:20:03	断面もこうマスキングが入ったりしてるのがあるんですね。
1:20:12	資料 8 の、
1:20:16	資料 8 で言うと、
1:20:20	9 ページ、10 ページとかですね。
1:20:25	でき平面図バー、9 ページの平面図はこうマスキングなって、A断面はマスキングだけどBとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:35	Dもまたマスキングになったりしてるんですけど、
1:20:42	これは0何が言いたいかっていうとこれなんかこう、統一感がちょっとなくてわかんなかったんですけど、間違いはないですよと過不足ないですよっていうのを、
1:20:54	確認したかっただけです。
1:20:58	はい。中国電力です。統一、確かにされてないようにお示しをちょっと確認してまた説明させていただきます。
1:21:56	すいません1点目は以上です。で、2点目は、資料10、
1:22:03	A、Aと呼んでは、4の11ページですね。
1:22:13	これも図面のところなんですけども、
1:22:16	今図、
1:22:19	2-6のところでは接続部っていうのが示されてるんですけども、
1:22:25	ちょっとこの位置関係っていうのが少しわかりづらいところがあって、
1:22:31	例えばCC断面でいうと、どこに接続されてるっていうのをこう、
1:22:37	こう投影みたいな形になるかもしれないんですけど、あった方がわかりやすいかなっていうのか、或いは、
1:22:45	本来その接続部っていうのでいうと、
1:22:49	B断面のところをこう、
1:22:54	10ページの上の方のところですねその横にこう示されるのか何かそういうのがあった方が、どこの位置に、
1:23:02	あるっていうのはわかりやすいんで、それは低圧の方は何かそういう図面とかもあるんですよ。
1:23:10	だからちょっとその点についてはこれも全体的な構造が理解しやすいってところをお願いしたいんですけども、いかがでしょうか。
1:23:28	はい、中国電力イワコケです。
1:23:30	こちら先ほどと同じでちょっと統一されてないので統一させていただきます。
1:23:34	このピッチイベントフィルターのBB断面については、この遮へいがある関係で、
1:23:40	遮へいがわかる場所の図をつけてるんですけども、
1:23:44	地震応答計算書の方につけてる図には、そちらのD断面の位置関係も入った図をつけてそこでもちょっと不整合になってしまっておりますので、そちら、また統一して、
1:23:55	資料差し替えさせていただきます。以上です。
1:23:58	はい。よろしく申し上げます。続いてですけども、14ページですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:06	ここちょっと確認したいのが、今 14 ページで、図 2-11 で、次の 12-12 のところまでですけど、
1:24:16	12-11 で
1:24:22	地下水位でエレベーション 10、15.0 って書いてるところの範囲なんですけども、
1:24:32	確かこれって
1:24:34	12 月に安全対策工事の
1:24:38	話があった時ってこの範囲っていう、
1:24:43	岩盤、
1:24:45	岩盤でグラウンドアンカーを打ったりっていうのだったんじゃないかなと思うんですけど、今ここでは、
1:24:54	ハッチングの凡例見ると、液状化対象層ってなってますけど、
1:25:00	これ、
1:25:02	間違いないですか。
1:25:05	はい。中国電力です。安全対策工事の掘削のところは岩盤のところ、破いグラウンドアンカーでしてるところもあれば、こちらの断面のところ、言いますと、背後に埋戻し動があって切り張りで止めをしているということが実態でございます。
1:25:19	なのでこの図について、間違いではありません。
1:25:25	あとですね、ちょっと資料自体持ってこなかったんですけど、この辺の位置で、
1:25:32	岩盤みたいなのが出てるところがあったと思ったんですけど前後関係が多少ずれてるってことですかね。
1:25:52	はい。中国電力ヨシツグでございます。今の④の資料の 15 ページ目に絵を見ていただきますと、
1:26:02	衛藤。
1:26:03	今度、若干下側が今度岩盤が今出てきているところございまして、
1:26:10	最初の 13 ページの平面図を、ちょっとこれに記載がないんでわかりにくいんですけども、
1:26:17	原子炉建物の南側、南西方向の斜面のところ埋戻し動のモリ炉になっておりまして、東のところの、
1:26:27	衛藤。
1:26:30	飯野李がついているところが岩盤の斜面になっております。そういったちょっと破壊のところがこの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:37	第 1 ベントフィルタのところでごさいましてちょっと切る断面によって、そういった岩盤のところと、その埋戻動のところがある、雨、友利のところがあるというそういった状況になっております。
1:26:49	以上です。わかりました。あんまりこの憶測で話しても、時間がもったいないんでちょっと後で私、もう 1 回確認して、
1:26:56	確認します。ちょっとそれは保留というか、置いておきますんで、
1:27:01	あと、
1:27:03	今の図面とか、もそうなんですけども、
1:27:09	さっきも地下水っていうのが出てきて今、
1:27:12	例えば 25 ページのところ、地下水の定義っていうので設計地下水 15 メーターっていうふうに示されてて、
1:27:21	先ほどの、
1:27:23	14 ページ 15 ページの図のところ、
1:27:26	青色のラインで 15 メーターっていうのを引いてるんですけど、ちょっとこれは記載のお願いのところなんですけど、
1:27:38	その地下水っていうのがこの図の中で、部分的にしか引かれてないんで、それ以外の範囲のところはどうなってるかっていうのが
1:27:47	どういう設定されてるのかっていうのがわからないんで、
1:27:53	建物、
1:27:57	構築物とかのその基礎の底面のところを通っているのか上のところを通っているのかとかですねそういうのが、もう部分的にしか今示されてないんで、
1:28:07	特に、
1:28:09	14 ページ 15 ページですね。だからそこはちょっとラインを比追記してもらってどこに地下性が設定されてるかっていうのを、
1:28:19	さっきの 25 ページで設計地下水 15 メーターっていうのだけ引かれてるんですけども、図の中にもこう範囲的にわかるようにですね、示してもらいたいと思いますけど、いかがですか。
1:28:33	はい中国電力河原です。ご審議の通り、自分だけではなく全体的にわかるように、地下水の線を追加したいと思います。
1:28:46	地下水については以上ですね。で、あと、最後、もう 1 個か二つかな。
1:28:55	へえ。
1:28:57	まず 1 点が、
1:29:00	主、資料 4 で言うと、65 ページですけども、
1:29:16	今、この 65 ページで荷重の組み合わせっていうのが示されてて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:23	それぞれの項目が、
1:29:25	引かれてますんで、ほぼ今回の第1弁とフィルターと、
1:29:31	フィルタ、ベントフィルタとですね低圧の方っていうのは、
1:29:36	同じような状況で、構造物としても似てるような形状してるところで、
1:29:41	低圧の方はこの表でいくと、
1:29:45	ちょうど真ん中ぐらいのところに積載荷重というのがあって、外水圧の下 にない水圧、
1:29:53	偶発荷重のところも、
1:29:59	資料1、ちょっと低圧の方に入っちゃうんですけども、
1:30:04	いえ、
1:30:05	とですね、低圧の方で言うと資料8で言うと65ページですね、今のペー ジと、
1:30:23	資料8で言うと、60。
1:30:26	4ですね。
1:30:28	なんですけど、そこで記載されてるのが64、資料8-64ページの方が 書かれてるからわかりやすいんですけど、
1:30:37	中ほどにない水圧っていうのと一番下のところに動水圧って書かれてる んですけど、
1:30:45	これはちょっと確認ですけど、要するに、
1:30:48	注水槽の方っていうのは、水を、
1:30:51	食べてるっていうことで、そういう違いっていうのが出てるんだと思うん ですけど。
1:30:58	わかりやすさっていうところで言うと、60、資料4の方にもあって、横バ ーとかにしたら、
1:31:06	どうなのかなあと思ったんですけど、これはやっぱり書かない方が、あ れですか。
1:31:12	二つのほ。
1:31:13	今言ってる観点というのは、何か漏れがあるように、
1:31:17	見えてしまったところがあったんで、それだったらもう考慮しないという ので横ば、
1:31:23	みたいな書き方。
1:31:25	おかしいですかね。
1:31:58	要するに、注水の方では、注水ソウダから、当たり前というか、
1:32:06	はい。逆に、
1:32:09	疑い、うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:13	はい、わかりました。すいません。それをちょっと私も確認したいというところもあって言ったんですけど。
1:32:21	その点については結構です。すいません、最後 1 点ですけど、資料 4 の方戻っていただいて、
1:32:33	6869 ページですねまず、
1:32:37	資料 4-6869 で、
1:32:42	ばらつきのところなんですけど、今後、本来は、今後ばらつきの考え方のところですね以前のコメントで、
1:32:52	共通的な説明をしてもらえっていうところで、その説明があったあと聞いた方がいいのかもしれないんですけど、ちょっと気になりすぎたんで、確認ですけど。
1:33:04	今 6869 ページのところで言うと、AB断面は、要するに、
1:33:12	岩盤の方で、
1:33:15	Σ見てて、CC断面は逆の埋戻しの歩道の方で、
1:33:22	見てるっていうふうになってるんですけど。
1:33:25	これは何でほぼ同じようなところなのっていうところで、ちょっと文章にも書かれてるんですけども、ちょっと再確認したいんで、なんで。
1:33:35	同じような場所でのところで、岩盤とも埋戻りで分けてるっていう、してるのかちょっと説明してもらえますか。
1:33:48	はい。中国電力の吉本です。衛藤。基本的には、そこに梅野首藤が接している場合は、そこからの動圧が、土木構造物の評価について支配的というところで、そちらの
1:34:01	ばらつきを見ておりますが、今回掘削間モデルだと、側方には両方後がなくて、計画直下から入力される地震動が主たる要因になると考えてますので、
1:34:12	岩盤のばらつきについて、掘削モデルについては考慮しているという状況です。以上です。
1:34:26	要するに 43 ページで示してるようなCC断面っていうのは、
1:34:34	その背後に埋戻し度があるから、それが影響が大きいだろうと。
1:34:40	で、41 ページ 42 ページに示されているようなところっていうのは、
1:34:45	41 ページで一部、
1:34:48	埋め戻しはあるものの、ほとんど接してなりっていうところで、
1:34:54	岩盤の方が影響大きいだろうっていう考えをということですか。
1:34:59	で、その点についてはわかりました。で、じゃあ、今 6869 そうなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:06	7374 ページ。
1:35:11	で、
1:35:12	機器配管系になると。
1:35:15	それが逆転してるんですよ。
1:35:22	さっき言った
1:35:27	体制評価の方っていうのはC断面が埋め戻すと。
1:35:31	表、ばらつき見てて、
1:35:33	今度、
1:35:34	7374 ページのところを見ると、機器配管系では、逆になってるんですけど、その理由というのをちょっと教えてもらえますか。はい。中国電力川田です。
1:35:46	すいません 3、表 3-15 についてこちらすいません記載が間違っておりまして、こちらでばらつかせるのは、梅本指導でなくて看板の方ですね。
1:36:00	73 ページは
1:36:03	表 3-15 っていうのは間違いということですか。はい。中国電力言うわけです。今川原が申した通りこちらが誤っておりまして
1:36:12	安全対策工事の掘削前の状態ですと、構造物の南側に埋め戻し量がありますので先ほどご説明したように、有効力解析をしておりますし、南側にも資料ありますので、この表の通り埋め戻しをばらつかせておりますけれども、
1:36:25	その記載のままにちょっとすいませんなっております、安全対策工事後は先ほどの表の方が正でございます、B断面につきましては岩盤をばらつかせてるっていうところ。
1:36:35	でございます。すみません、誤っておりました。あれですね、73 ページと 70、74 ページの方の表 3-16 も修正されるっていうことですね。
1:36:47	じゃないのか。これは合ってるんですね。こっちは合ってる、
1:36:52	わかりました。
1:36:53	B断面の方だけ修正するってことですね。
1:36:57	わかりました。じゃ、じゃあそれで一応耐震評価と機器配管系については統一されてるってことですね。
1:37:04	すいません続けてなんですけどそれがですね、ごめんなさいね資料、
1:37:11	8、
1:37:13	ちょっと低圧もちょっと言って申し訳ないんですけど低圧のほうで見ると、
1:37:18	鳥栖資料で言うと 68 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:37:23	資料 8-68 ですね。
1:37:29	で、68 になると、
1:37:32	今度はABCで、
1:37:38	みたいになぜ、分けてないんですよね。
1:37:41	その理由っていうのをまず教えてもらえますか。
1:37:49	はい。中国電力川田です。こちらすみません、低圧注水代替ポンプの操作については、
1:37:55	すべて全力解析で、私らが接していないことから衛藤五十嵐まで全部同じということで、分けていません。
1:38:04	それ 2 ページの
1:38:06	70 通し番号で 71 ページですね、こちら表 3-13 こちらも先ほどと同じようにちょっと記載のみ誤記をしまして、こちらもばらつかせてるのは、ケース 23 では、岩盤となっております。
1:38:20	オチはございません。
1:38:22	わかりました。ちょっとその辺が整合とれてないなっていうのが気になったんで確認しましたが、間違いだったということですね。はい、わかりました。じゃあその点については、ちょっと記載の、
1:38:33	修正というか、見直しだけよろしく申し上げます。私からは以上です。
1:38:43	規制庁の江寄ですか。私からちょっと事実確認だけなんだけど、
1:38:50	資料の、
1:38:51	④の 28 ページ。
1:38:57	ここでは、CC断面だけなんだけど、CC断面は有効解析やってるっていうことで、
1:39:03	下位クラスの、
1:39:06	何だっけ、ちょっと水槽というか防水層か。うん。
1:39:11	もうがどういような影響ね、壊れるか壊れないかと、Cクラスなんてわからないとかさ、わかんないってこともあって、
1:39:18	こういう解析やっているっていうのは理解していて、
1:39:25	一方で、
1:39:29	最後の⑧の資料ですねこれは、
1:39:35	低圧原子炉を代替注水ポンプ格納槽、
1:39:39	毛布があって、ここでは、CC断面全応力になっちゃうんだよね。
1:39:44	だ解析モデルとか段目は一緒なんでCC断面は、
1:39:49	これは間違いはないですねって、
1:39:52	こういうふうに分けることは問題ないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:56	これは記載のイとしては適切だというふうに解釈していいんですよね。
1:40:02	そう構造物によって、有効電力分けてるってことは、
1:40:06	はい。中国電力です記載の誤りはありませんで、実際解析モデルも同じものになりますけれども、屋外重要土木構造物の方で解析手法の選定のフローとして整理していく中で、
1:40:17	こちらをですね、
1:40:20	低圧原子炉の方を有効量解析としてしまうとそのフローとのちょっと整合とか説明性が落ちるのかなというところで同じモデルなんですけれどもここは有効電力解析税務力解析を構造物ごとに分けて、
1:40:31	今評価をしているというところでございます。わかりました。もともと終わった基本方針に忠実に
1:40:38	モデル化というか、所を解析手法を分けているということを理解しましてありがとうございます。
1:40:48	はい、規制庁吉良です。イベントフィルターについてよろしいでしょうか。はい。
1:40:53	それでは低圧の方の確認をお願いします。
1:41:03	はい。すいません。それでは規制庁の三浦です。
1:41:08	ちょっと私の方から確認をしていきます。
1:41:11	資料 6 番、
1:41:16	の、5 ページ。
1:41:20	5 ページなんですけど、これ図 2 の方で示されている。
1:41:26	何とか、過去の帳簿にあるポンプ高ですか。
1:41:32	ありますよね二つで、
1:41:34	これ例えば左側の部分で、これジャグジー方向の会サカモトには含まれないんですけど、これどうやって設計されてるんですか。
1:41:45	町民方向は入ってるけども、久慈方向な入ってないですよ。断面切られてない。
1:41:51	それ、どうやって設計されたのかな。
1:41:54	教えてください。
1:41:57	中国電力局ですいません少々お待ちください。
1:43:02	はい。中国電力の吉本です。
1:43:04	衛藤。
1:43:05	今、地上部に部屋ありますが、片方が、左側が階段室、右側、ポンベ庫としておりまして、
1:43:16	実際にSAの設備を監視しているのは、その地中部にある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:22	ふた部屋の方になっていまして、そのチューブに対して厳しくなるような断面を選定するという意味で今断面を選定しております。というのが、こちらの方の部屋に家乗っけられている機器の重量が、
1:43:36	衛藤。
1:43:38	左側へよりも大きいからという理由でそちらを選定してます。
1:43:41	で、それだと、左側の部屋の評価漏れがあるんじゃないかということもご指摘であると思いますが、それについてはCC断面の評価で部材の評価をすることで、
1:43:54	考えておりました。以上です。
1:43:57	CC断面の評価、
1:44:00	CC断面教授食うですよ。
1:44:04	阿藤多分なんか、久慈高校で、右側のポンプこれを、の同じ配筋入れたってことじゃないの。
1:44:15	それで悪いとは思わないんだけど、
1:44:22	中国電力です。先ほどCC断面によりこちらの部屋を評価してるこれは、確かに教授方向になるんですけども、今教授方向につきましても、基本的には妻壁を考慮しないものとして、
1:44:34	評価をしていますので、そういった観点でいうと弱軸強塾ってのはあまりなくてですね。
1:44:39	それで評価ができるものと考えております。わかりました。
1:44:43	これ、それを使ってちゃんと設計はされてるんですね。
1:44:48	はい。設計時には、もちろん確認をしておりますし今回の設工認の審査の中では、その教授のものを使ってこれからご説明させていただきます。わかりました。これ補足か何かに入れます。
1:45:00	もう入れない。
1:45:02	はい。中国電力です。今回このCC断面の評価について通じとさせていただきますけれども、今後、CC断面の結果を添付する時に、こちらの
1:45:12	A棟、地上部の部材も含めた評価としてご説明させていただきます。わかりました規制庁の植田です。あとクリーンハウス中、クリアさ10mmですよ。これも、動的解析やってるんだから本当にショートしないかどうかという確認をしてというふうなですね。
1:45:26	それに合わせて、
1:45:31	はい中国電力です承知しましたそちらの観点でも確認させていただきます。それと資料7の22ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:39	22 ページ、
1:45:42	これは柿本だと思うんですけど 22 ページ以後、これ、上の方が曲げモーメントで真ん中が軸力、下がせん断力ですよ。
1:45:53	資料 7-22 ページからしばらく応力、
1:45:57	応力値が出てます 23 ページと、
1:46:01	はい、中国電力からのご指示の通り、加古加古B。
1:46:05	ですね他のもので記載があるものについてここ、記載が漏れてますので、修正して提出したいと思います。
1:46:10	はいお願いします。あと、
1:46:13	29 ページ。
1:46:16	29 ページの表 4-8。
1:46:20	資料 7 ですね、章表 4-8。
1:46:24	詳細済み鉄筋の、1028 出てるんで、
1:46:28	ところがこれ、これに対するエビデンスがないんですよ。
1:46:33	コンクリートの圧縮の方は、例えば、
1:46:37	2020 ページかな。
1:46:41	20 ページ 19 ページ 20 ページで、
1:46:44	圧縮ひずみがこう出てますよって書いて、部材係数か何か B. 二倍歳出、
1:46:50	構造解析係数、それがこの表に持ち込まれてるんで数字を得るんですけど、
1:46:55	1028 っていう鉄筋ひずみに関しては、今言ったコンクリートのようなエビデンスがないんでそれを付け加えていただけますか。
1:47:19	はい。中国電力の吉元です。今、資料、都丸。
1:47:24	7 ですかね、7 の、
1:47:26	衛藤。
1:47:30	29 ページの、職員の方のひずみのエビデンスということですけども、
1:47:35	同じ資料の 20 ページ、
1:47:38	になります、衛藤。
1:47:40	こちら出勤のひずみが圧縮ひずみが入っておるんですが、圧縮っていう表現がおそらく適切じゃない。引張降伏の話を、
1:47:51	記載するべきですので、そうですね。このについては合ってるんですが、ちょっと表現が正しくありませんので、そちら、修正しようとわかりました。うん。修正しておいてくださいじゃ。
1:48:04	はい。それとあと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:06	これはねえ。8 ページは資料 8 の 66 ページなんですけど、
1:48:13	これはちょっと教えて欲しいんですけど。
1:48:17	どうするやつ。
1:48:19	66 ページ資料 8 の同センス書かれてますね。ウエスタガードはいいんですけど、
1:48:25	これ自身ほど解析の時言ったら、水を固定水として扱って地震応答解析をやる。
1:48:33	そっから出てくる地震応答解析からえられる応力値に、この
1:48:39	上坂とかもともと同時やつを加えて五、六算定をしてるんですか、ちょっとプロセスを教えてください。
1:48:49	はい。中国電力の吉元です。
1:48:52	動水圧については、増設としてかかる部分を、それがセル接点に付加質量として考慮することで、
1:49:02	それに慣性力、感性力と加速度がかかることで、
1:49:06	動水圧として見るような形になっております。
1:49:17	を、
1:49:18	そうなんですかそれとそのときっていうのはだけでもあれですよね清進藤坂戸と薄井技師に入っていますよね。それが予備解析か何かやってることなんですか。
1:49:28	ちょっと意味がわからない。
1:49:30	そこ、上坂どうだと清進藤ですよ。
1:49:34	付加重量だと、この水平震度って表現があつてこないのかなあと思ったんだけど、
1:50:48	概念としては分かるのは要するに付加していると知れてるってことでね、動的解析上深津富士図として入れてるということですね。わかりました。
1:50:58	そういうやり方してるのか。はい、わかりました私は以上です。
1:51:07	はい。規制庁チギラです。他に確認する点ある方。
1:51:11	水木でも、
1:51:14	ここ、
1:51:15	規制庁の江寄ですか、丸野 8 の資料下でこれでね。
1:51:20	106 ページで、いわゆるgageクロキ系の調査のアウトプットとして泉を 8 Kとか載せていただければ、
1:51:32	いるんですが、
1:51:34	それでね、いわゆるこの部分ってこの構造物って、確か、
1:51:41	取水性、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:43	ていうか、その条件をなんていうか、要求供給がかかってる部材があって、それは鉄筋で、
1:51:50	いわゆる鉄筋降伏迎えてませんよ。
1:51:53	としているので、そのケースの、いわゆるコンクリートひずみだけあって鉄筋ひずみがないのがちょっと気に感じていて、
1:52:00	ただ、
1:52:03	冠水し、支持してるところは、従来みんな
1:52:08	100分の1段じゃんで層間変形角もしくはかぶりコンクリートの、あれですよね。
1:52:14	1%でしたっけ、それは等価なんで、いずれかでやっているからあんまり機運歩Vとか部材とか禁止していないし、あれなんだけど、
1:52:25	ただ、
1:52:26	いわゆる、
1:52:28	止水性っていうか、止水要求がかかっているところはやっぱりその部位ごとにかかっているから、
1:52:35	どこの部位で調査したのかというのと、実際
1:52:40	それに応じたひずみが何か、日時刻歴とか出した方がいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。
1:52:47	Vに関して言うと、どこだ。120ページがそあれかな。そうだね。120ページが、
1:52:56	基本的には、至近歪なんだけど、これがどこの部材の、
1:53:01	ここを代表しているのかというのわかるようにしてもらった方がいいかなと思うんですけど、いかがですかね。
1:53:07	千田は全部書いてるんだけどね。うん。
1:53:10	はい。
1:53:11	中国電力の吉本です。
1:53:14	補足説明資料につきましては出勤ひずみの時刻歴背景っていうのが、ちょっと記載が漏れてました。すいません。ですのでおっしゃるように、資金の
1:53:23	品的な引っ張り交付についても確認をしておりますので、そちら側の資料⑦の方では、記載がありまして先ほどのお話があったやつなんですけどそれが補足説明資料に、
1:53:33	抜けておりましたので、追加いたします。以上です。
1:53:39	止水性のかかる場合の、どこがクリティカルでっていう話もわかるようにしてもらえますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:47	調査票の中で欄を設けて、
1:53:51	これ、町場だとか、根井ウエキだとか、何ですか、隔壁だとかあるんでしょうけど、どこを見ているのか、どこで決まっているのかっていうことぐらいは、表の中に書いといてもらえばいいかなと思います。
1:54:06	はい。中国電力の石本です。承知しました。
1:54:14	あとこれ、混合でいいんですけど、ちょっとこれは要望に近いんですけどね。
1:54:20	うん。
1:54:22	実際に、後、まだ完成はしていないんだけど、
1:54:26	いわゆる、
1:54:27	掘削する前の検討を載せてますよね。
1:54:31	その中で
1:54:33	できればもうこういう構造解析をやって、
1:54:37	いないんだっけ。
1:54:40	全くないんだっけ。
1:54:41	要は穴ぼこ問題じゃなくて植える前ですよ。
1:54:48	やってますよね。それで過剰間隙水圧出てると思うんだよね。
1:54:53	それで一応浮き上がりのチェックだけはしといてくれる。
1:54:56	うん。でも実際もうそれないんだけど、今後また久慈まで歩これ歩放置招待になっちゃうんで、当然言っちゃいけないのか、基本的に、
1:55:06	基本的には通す最終的な施工ん段階でまた改変されることになると思うんで安全、
1:55:12	変換、
1:55:13	県の安全向上としてね。そういったときに、今の段階で
1:55:19	掘削してる施工の状態では、多分、
1:55:23	地下水はどうせ組み上がっちゃってるんで、ない状態になってるけども、自主的にその運用していく段階で、その地下水が回復したときの状態っていうのは、ここの解析でOKであれば、
1:55:36	その以後も全部OKなはずなんで、そこをちょっと確認だけしていきたくいんで、それをちょっとチェックかけていただけますか。
1:55:48	はい。中国電力の石本です。今おっしゃられた
1:55:52	この前の状況で、過剰間隙切分布を踏まえて、液状化の
1:55:58	影響も踏まえた浮き上がり調査っていうのを確認するようにしようと思います。以上です。
1:56:16	はい、規制庁タグチほか、よろしいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:20	はい、じゃあ全体通して何かありますか。大丈夫そうですか。はい。中国電力側からは大丈夫ですね。はい、わかりました。それでは午前中のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。
---------	--

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。